



薬物乱用防止教室を実施



22日(水)の5校時に、食堂において由利本荘警察署主任専門官とスクールサポーターの2名を講師としてお招きし、2、3年生を対象に薬物乱用防止教室が開かれました。

保健体育の授業でも「薬物乱用の害と健康」について、学習する機会がありますが、今回は、より専門的な立場から薬物乱用の危険性や誘因への対処について具体的にお話いただきました。

まず、違法薬物にはどのようなものがあるかについて説明が

あり、とりわけ、大麻は若者を中心に拡大傾向にあり、昨年度の検挙者6700人のうちの約7割は10～20代の若者とのこと。実際にどのように手を染めてしまうのか、DVDを視聴しながらその勧誘の手口について学びました。ドラマ仕立ての映像から、よく使われる勧誘の言葉を見つけるといいうクイズ形式であったため、「痩せられる、頭がすっきりする」「みんなやってる」「合わなきゃやめたらいい」などなど、自分なりに考えながら真剣に見入っていました。

防止教室の終盤には、実際に勧誘された際にどうするかを、生徒代表として、遠藤吉平さんがロールプレイしました。執拗な誘いにも、強い意志をもってかたくなに拒むことができ、みんなのよい見本となったところで本教室は終了です。

さて、脳や心身の成長が著しい時期にあって、薬物の乱用は、健康や将来に多大な影響を及ぼすことは言うまでもありません。

薬物乱用は、依存性(自分ではやめられなくなる)と耐性(繰り返すほど量が増える)により、悪循環へと陥る怖さがあります。近年では、市販薬の乱用によるオーバードーズの怖さについても耳にするようになりました。ちょっとしたきっかけや心身の不安定さから起こりうるものですから、今回の教室をもとに、強い意思と正しい判断、行動で身を守ることにつなげてほしいです。



生徒の感想から

小野 **

薬物を勧めるドラックをしている人が身の回りに居ることが怖いと思いました。薬を誘われても、貰っても安全かわからなかったり、市販の物でも人からもらった物は服用しないようにしたいと思いました。

阿部 ***

薬物の名前や言い方を覚えていたり、薬物の誘われ方の動画を見てこのような言い方をしていたら気を付けたいと思いました。これからは今日学んだことを生かして生活していきます。

渡辺 **

DVDをみて薬物を勧誘する決まり文句があることが分かりました。もし自分も怪しい言葉が言われたらしっかり断れるようにしたいと思いました。実際に薬物のモデルをみて、よくあるような葉っぱや病院のクスリのようなものが多くあったので、だまされないように気をつけたいです。

阿部 **

もし身近な人に勧められたりしてもしっかりと断れるようにしたいです。またネットなどの情報でだまされたりしないようにしたいです。

小野寺 **

風邪薬のように身近でどこにでもあるような薬でも、1回で多くの量を摂取するだけで、薬物乱用になってしまうので気をつけていきたいです。

大庭 **

先輩、知らない人、身の回りの人に薬の誘いっぽいことだったらしっかり断りたいと思います。また、薬をやっている人、薬をやっている人を見たら注意したいと思います。(近づかないなど)

今年度の全校一斉テスト終了



23日(木)の朝の時間に、今年度最後となる全校一斉テストが行われました。

今回は、全学年共通で、頻出の英単語100問が範囲そのままに出題されるものでした。冬休み前から範囲表が配られ、練習の時間はたっぷりあったはず。ここ数日の家庭学習では、テスト形式で問題を解いたり、間違えやすい単語の反復練習に取り組んだり、最後の調整に余念がない様子が見られました。終了後も手応えを感じている生徒が少なくありませんでした。

ぜひ、これからも使える英単語を増やして行ってほしいですし、達成感や成就感の味わえる結果が伴ってくれたらと思います。結果と答えは来週知らされる予定です。



学校給食週間スタート

今日24日(金)から1週間は全国学校給食週間にあたり、本校でも、4日間は地元食材やご当地メニューなどが続きます。早速、本日は炊き込みご飯に加え、秋田県の郷土料理のだまこ汁が提供されました。学校給食がスタートした頃と比べると、子ども達を取り巻く食生活の環境も様変わりしましたが、こういった機会に、学校給食の役割や栄養バランスのとれた食について、理解を深めたり、関心を高めたりできたらと思います。ぜひご家庭でも話題にしてみてください。

由利本荘市中学生会議に参加

20日(月)に市役所正庁において、中学生会議が開かれ、本校を代表して生徒会長の高橋**さんと副会長の畑山**さんの2人が参加しました。

これは、中学生による協議により、生徒会活動の活性化や諸問題について改善を目的として毎年開かれている会議です。今年度のテーマは「生徒会活動をより活発にするためには」となっており、参加した市内の中学生がグループ協議や全体協議で意見や考えを出し合いました。他校の取組や考えの交流を経て、市全体に目を向けたり、広い視野から本校を見つめ直したりする貴重な機会といえるこの会議。由羽さんは、第1部全体会司会の大役も担うなど、大変貴重な経験となりました。



会では、生徒会活動の活性化のために、小学校にも働きかけながら、連携の強化や交流の推進を図っていくことが決まったようです。今回の経験を生かし、今後の活性化となる執行部を中心とした新たな提案や挑戦を楽しみにしたいと思います。2人とも大変お疲れ様でした。